

河野 史郎さん
Kawano Shirou

〔芝原区〕

甲佐町人権擁護委員 / いじめや差別、虐待などの人権問題解決に取り組む。毎月1回、町民センターなどで人権相談を受け付けている。

人権啓発活動を通して 互いに思いやる気持ちを育む

「ネットの書き込みが原因で命を絶つニュースが近年増えてきています。子どもたちにはいじめの被害者にも被害者にもなつてほしくない」と話すのは、令和5年10月6日

から甲佐町人権擁護委員に就任した河野史郎さん（芝原区）。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間ボランティア。本町では河野さんを含

め4人の人権擁護委員が、毎月の人権・困り事相談や、イベント時の啓発活動、町内の小中学校での人権をテーマにした授業の開催など積極的に活動している。

河野さんは定年後、県の非常勤として甲佐高校、矢部高校などの進路相談室に勤務。その後、老人ホームに勤めな

から、昨年11月まで民生委員を3年務めた。「定年後は社会貢献をしたい一心で、子どもたちや高齢者の皆さんのためにさまざまなボランティア活動を行ってきました。彼らのためと始めたどの活動も自身の成長につながっていますし、勇気づけられることも多く、本当にやって良かったなと感じます」と笑顔を見せる。

河野さんが人権擁護委員に就任したのは前任者から推薦がきっかけ。最初は人権擁護委員になれるような人材ではないと断ろうと思っていたという。だが、長年の友人の「お

前ならやれる。新しい体験は自分のためにもなるし、社会貢献にもなるじゃないか」という言葉が背中を押し、委員の就任を決めた。「私も友人のように、相談者を前向きにさせて、背中を押せるような人権擁護委員になれれば」と今後の意気込みを語る。

今後、河野さんは人権擁護

委員として町内の保育園や小学校で人権教室を実施する予定。子どもたちが分かりやすいように、ほかの人権擁護委員と共に寸劇や紙芝居を使い、いじめ問題の解決や正しいSNSの使い方を教える準備を行っている。「いじめの根底には、他人に対する思いやり、いたわりといった人権意識の希薄さがあると思います。子どもたちが、人権教育を通じて、少しでも他人の心の痛みがわかる人になってくれれば嬉しいです」と今後の想いを話す。

12月4日(月)～10日(日)は、甲佐町人権週間。9日(土)は町生涯学習センターで町民集会が開催される。「人権講演や小中学生の人権発表などが行われます。皆さん参加いただき、人権について考えるきっかけにしてほしいです」と話す河野さんは人権に対する理解の輪をこのまちで広げていく。